

# 帝王切開後の傷あとケア Mepitac<sup>®</sup> 使用経験

## Case Report Scar Management

### はじめに

東京慈恵会医科大学附属病院では総合周産期母子医療センターを有し、妊娠から出産、子どもの成長までチーム医療でトータルにサポートする体制を取っています。

2023年度の実績は分娩総数891件、帝王切開を366件実施しており、充実した産前・産後ケア支援を行っています。

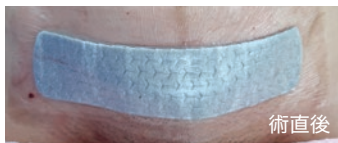
術後の創傷に対して張力(テンション)がかかることで、ケロイド・肥厚性瘢痕を引き起こすとされています。術後すぐに育児行動(授乳や抱っこなど)が開始され、帝王切開後の産婦はケロイド・肥厚性瘢痕リスクが高くなると報告されています。

ケロイド・肥厚性瘢痕は痛みをとめない、また美容的にも望ましくなく、患者QOLが低下するため、傷あとケアは非常に重要です。<sup>\*</sup>今回は当院で行っている傷あとケアについて報告します。

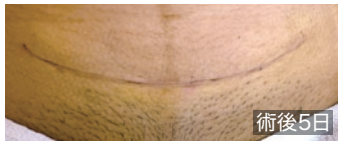
<sup>\*</sup>Y.Sugita, et al. Int J Gynecol Obstet. 2025;00:1-8.

### 術後の理想的な創部管理

術直後の創傷被覆材選択において重要なポイントは、創部感染リスクを軽減し、かつ湿潤環境を保ち上皮化を促進させる創傷被覆材が最適です。当院ではメピレックス<sup>®</sup> ボーダー Post-Op Agを貼付しています。Agによる抗菌効果だけでなく、パッドにY字の切れ込みがあり、創部の屈曲に追従します。



術直後



術後5日



1か月後

当院はメピレックス<sup>®</sup> ボーダー Post-Op Agを術後5日で剥がし、上皮化・浸出液が出なくなったらメピタック<sup>®</sup>を使用し、傷あとケアを開始します。自宅でのセルフケアは3か月~6か月継続します。

術後5日目で疼痛目立たず退院  
1か月後、正常瘢痕に

術直後

浸出液が出なくなるまで創傷被覆材を貼付(湿潤環境を保ち、退院診察まで剥がさないことで円滑な創傷治療を目指す)

貼付材:メピレックス<sup>®</sup> ボーダー Post-Op Ag

退院時

自宅でのセルフケア、傷あとの固定

貼付材:メピタック<sup>®</sup>

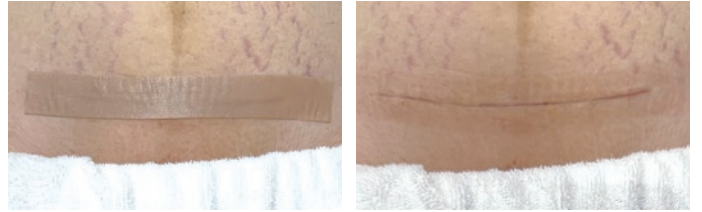
術後  
6か月  
まで

定期健診で傷あとの評価(希望により期間調整)

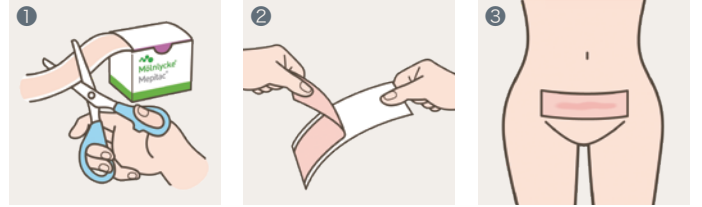
貼付材:メピタック<sup>®</sup>

### メピタック<sup>®</sup>を使用した傷あと固定

自宅でのセルフケアとしてメピタック<sup>®</sup>による傷あとケアを指導します。メピタック<sup>®</sup>を貼付することで、育児の動きによる張力を軽減することができます。傷あとをしっかりと覆うようにカットして使用し、数日から1週間程度で交換を行います。(使用環境により異なります)



メピタック<sup>®</sup>の貼付例



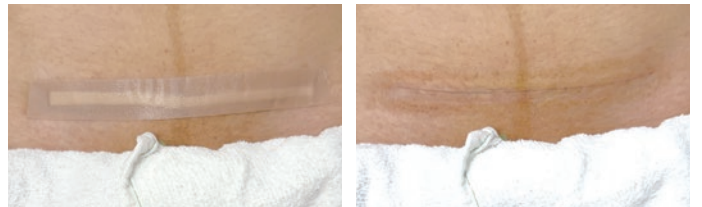
メピタック<sup>®</sup>の使用方法 / ① 傷あとの長さに合わせてカット  
② 剥離フィルムからテープを剥がす  
③ 傷あと全体をカバーするように貼付

### メピタック<sup>®</sup>と副腎皮質ホルモンテープの同時併用

傷あとに発赤や掻痒感がある場合には、張力と炎症を減じるためにメピタック<sup>®</sup>と副腎皮質ホルモンテープを半年間継続することが重要と考えています。

傷あとにまず副腎皮質ホルモンテープを貼付し、その上からメピタック<sup>®</sup>を重ねます。縦切開や恥骨上部の横切開はケロイド・肥厚性瘢痕形成のリスクが高くなると考えているため、この方法を採用しています。

正常皮膚に触れるとかぶれることがあるため、傷あとの形に合わせて細く切るなどデザインします。副腎皮質ホルモンテープの薬効の点から24時間ごとに貼り替えます。



メピタック<sup>®</sup>と副腎皮質ホルモンテープの同時併用例

# Case Report Mepitac®

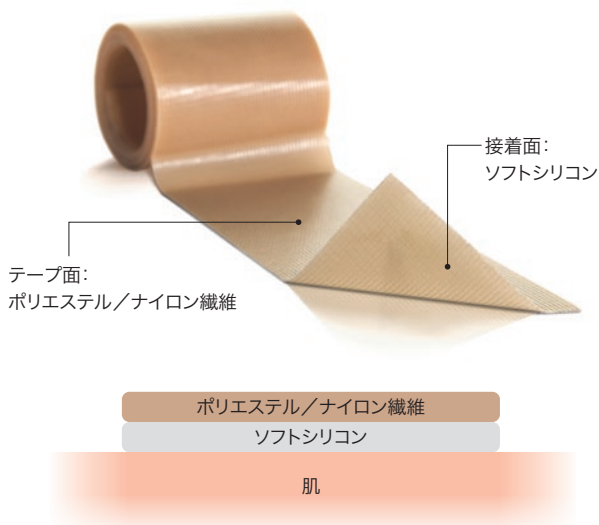
## Scar Management

### メピタック®が傷あととケアに適している理由

傷あとと固定用の貼付材を選択する上で重要なことは、肌へのやさしさと、縦にも横にも伸びにくい優れた固定性です。

一般的にシリコンは柔らかく皮膚トラブルが少ないとされていますが、傷あとを十分固定するためには分厚くなってしまい、粘着性や皺壁での使用に課題があります。また、育児の動きで剥がれることもしばしば経験します。

メピタック®の接着面はソフトシリコン、テープ面はポリエステル/ナイロン繊維の2層で構成されています。この2層構造はシリコンの肌へのやさしさという特長を有しながら、少ない厚みでテープとしての固定性を兼ね備えており、傷あととケアにおいてバランスが良いと考えられます。

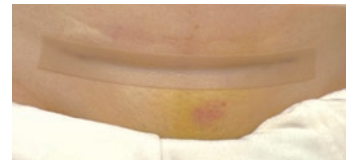


### メピタック®のサイズ選択

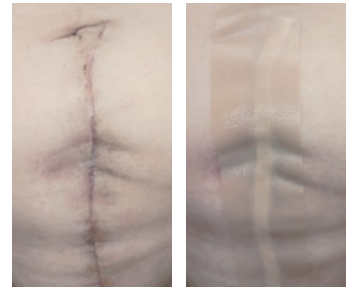
メピタック®は2cm幅と4cm幅の2サイズあり、切開や創部の状態に応じて使い分けが可能です。

通常の横切開では2cm幅を第一選択としており、傷あとを十分カバーし、接着面を最小とすることで皮膚かぶれなどのリスクを低減することができます。

縦切開には4cm幅が望ましく、より固定性に優れかつ直線でない傷あとでも1枚でカバーすることができます。



横切開2cm幅を使用した例



縦切開4cm幅を使用した例

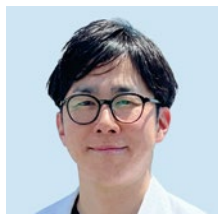
### 患者さんへの傷あととケアの案内方法

自宅でも傷あととケアを復習できるように当院では独自に患者向けの指導書やパンフレット、参考となるQRコードを案内しており、院内売店にて販売を行っている旨をお伝えしています。

また、自費となりますのでコストについても確実に説明します。15cmの傷あとの場合、2cm幅であれば1巻で20回分使用可能です。つまり数日から1週間程度の通常使用であれば約3~5か月分、副腎皮質ホルモンテープと併用し毎日張り替える場合は20日分となります。

サイズ(cm)	巻/箱	想定使用回数*	特長
2×300 	1	20回分 (2×15cm)	汎用性◎ 粘着面を最小とし、 皮膚かぶれのリスク が低減
4×150 	1	10回分 (4×15cm)	固定性◎ 縦切開に優れている

※15cmずつ使用した場合



### 著者紹介

東京慈恵会医科大学  
産婦人科学講座 助教

末光 徳匡 先生

帝王切開は大きな傷あとが残る手術であり、開腹手術として最も多く実施されています。低侵襲手術が増える中、本術式は未来永劫なくなることはありません。また、さまざまな理由で帝王切開を受ける中で、傷あとをきれいに治すことは、産婦さんの心身の回復の手助けになると感じています。我々が伴走して傷あととケアを実施し、多くの産婦さんが傷あとに悩まないようにできればと思います。

## Less pain. Less trauma.

メンリッケヘルスケアは、ソフトシリコンを用いた、痛みや組織損傷の少ないドレッシング材を開発し、患者さまの視点からの“アウトカム”向上を提唱しております。

製造販売業者  
メンリッケヘルスケア株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-20-7

コンシェルシア西新宿タワーズ ウェスト

TEL:03-6914-5004

製品に関するお問い合わせ

メンリッケヘルスケア株式会社

ウインドケア事業部

TEL:03-6279-0991

Safetac®, Mepilex®, セーフタック®, メピレックス®はMölnlycke Health Careの登録商標です。

Safetac  
TECHNOLOGY

Mölnlycke®